

当院で診療を受けている患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。未成年の方については、保護者の方にも本内容をご確認いただき、参加を希望されない場合はお申し出ください。

記

研究課題名	85歳以上の超高齢者における骨髄検査の診断的有用性と安全性に関する後方視的検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 内科学講座(血液内科)(職名) 教授(氏名) 高見昭良
研究の対象となる方	本研究の対象となるのは、2021年1月1日から2025年12月31日までに骨髄検査を受けた患者のうち、検査実施時の年齢が85歳以上の方です。また、診療録により骨髄検査の目的、検査所見、最終診断および検査後の診療方針、合併症の有無が確認可能な方を対象とします。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2029年9月30日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕85歳以上の超高齢者では、貧血や血球減少などを契機として骨髄検査が施行されることがありますが、その診断的有用性や安全性に関する実臨床データは限られています。本研究では、超高齢者における骨髄検査の診断的有用性および安全性を明らかにし、適切な検査適応の判断に役立つ知見を得ることを目的としています。 〔利用方法〕通常診療で得られた診療録情報および検査データを用いて解析を行います。本研究のために新たな採血や検査は行いません。 〔外部への試料・情報の提供〕本研究は単施設で実施しており、外部への試料・情報の提供は行いません。
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：該当なし 情報：診療録(カルテ)から以下の情報を取得します。年齢、性別、診断名、骨髄検査の目的および所見、血液検査結果(白血球数、ヘモグロビン、血小板数、LDH、ビリルビンなど)、骨髄検査後の診療方針、合併症の有無など
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	該当なし
試料・情報を利用する学外の者	該当なし
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用または提供を希望されない場合は、2028年

は提供を希望しない 場合	12月31日までに下記問い合わせ先までご連絡ください。
外国への試料・情報 の提供	該当無し
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 内科学講座 血液内科 担当者：高見昭良 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話：0561-62-3311 Email: takami-knz@umin.ac.jp